

Pはポイント、BSIは景況判断指数

国 内		県 内	
2日	18年度企業の内部留保、7年連続過去最多を更新 財務省は、2018年度の法人企業統計で、「内部留保」にあたる利益剰余金(金融業、保険業を除く)が、463兆1,308億円と発表。	2日	一ツ葉有料道路、通行料無料化撤回 県は、来年から通行料金を無料化する予定だった一ツ葉有料道路を、通行料金を値下げした上で有料を継続する方針と発表。
2日	4～6月期設備投資、2年ぶり前年同期比減少 財務省は、2019年4～6月期の法人企業統計で、製造業の設備投資が前年同期比6.9%減の3兆6,156億円と発表。	6日	8月県内金融経済概況、判断据え置き 日銀宮崎事務所は、8月の県内金融経済概況で、全体の景気判断を「緩やかな回復を続けている」と据え置き。
3日	8月資金供給量、伸び率が低水準 日銀は、8月のマネタリーベース(資金供給量)の平均残高が、前年同月比2.8%増の512兆5,110億円と発表。	6日	県商工会連合会と空港ビル、特産品販路開拓へ協定 県商工会連合会と宮崎空港ビル(株)は、特産品の売上増につなげることを目的に、販路開拓に関する連携協定を締結。
6日	7月景気動向一致指数、2カ月ぶり上昇 内閣府は、7月の景気動向指数(速報値)で、景気の現状を示す一致指数が前月比0.3P上昇の99.8と発表。	6日	18年度県産材輸出、過去最多 県は、2018年度に本県から海外に輸出された県産材が、前年度比6.7倍増の35万3千立方メートルで、過去最多を記録したと発表。
9日	8月街角景気、4カ月ぶり改善 内閣府は、8月の景気ウォッチャー調査で、街角の現状判断指数(季節調整値)が前月比1.6P上昇の42.8と発表。	10日	宮銀、民事信託支援を開始 宮崎銀行は、家族間などで資産の承継や有効活用を円滑に行うことを目的に「みやぎんファミリー信託サービス」の取り扱いを開始。
9日	7月国際収支、61カ月連続経常黒字 財務省は、7月の国際収支速報で、経常収支の黒字額が前年同月比1.3%減の1兆9,999億円と発表。	10日	宮崎学園短大と県中小企業家同友会、連携協定 宮崎学園短大(宮崎市)と県中小企業家同友会は、人材育成や若者の地元定着を図ることを目的に、産学連携協定を締結。
11日	7～9月期大企業景況感、3四半期ぶりプラス 財務省と内閣府は、7～9月期の法人企業景気予測調査で、大企業の全産業のBSIがプラス1.1と発表。	11日	7～9月期本県法人企業景況感、前期比改善 宮崎財務事務所は、7～9月期の法人企業景気予測調査で、本県の全産業のBSIが前期比4.0P改善のプラス10.0と発表。
12日	7月機械受注、2カ月ぶり前月比マイナス 内閣府は、7月の機械受注統計(季節調整値)で、「船舶・電力を除く民需」の受注額が前月比6.6%減の8,969億円と発表。	15日	サーフィンWG閉幕、宮崎の波を国内外へ発信 9月7日から9日間にわたって宮崎市・木崎浜で開催されたサーフィンの「ワールドゲームス(WG)」に、延べ約8万8千人が来場。
18日	8月韓国からの訪日客、前年同月比大幅減少 観光庁は、日本を8月に訪れた韓国人旅行者数が、前年同月比48.0%減の30万8,700人(推計)と発表。	16日	来春高卒予定者の県内企業志望、5年連続増加 来春卒業予定の高校生を対象にした企業の採用選考が全国一斉に解禁され、県内でも一部企業が選考を開始。
18日	8月貿易収支、2カ月連続赤字 財務省は、8月の貿易統計(速報、通関ベース)で、貿易収支が1,363億円の赤字と発表。	17日	延岡市に、プラノバ第3工場完成 旭化成メディカル(株)のウイルス除去フィルター「プラノバ」の第3紡糸工場が延岡市に完成。来年8月商品生産開始予定。
19日	地方商業地の基準地価、28年ぶり上昇 国土交通省は、7月1日時点の都道府県地価(基準地価)で、三大都市圏を除く地方圏の商業地が、前年比プラス0.3%と発表。	17日	韓国プロ野球、本県キャンプ3球団中止 韓国のプロ野球3球団が、10～11月に予定していた本県での秋季キャンプの中止を決定。長引く日韓両国の関係悪化が影響。
19日	9月景気判断、5カ月連続据え置き 内閣府は、9月の月例経済報告で、国内の景気判断を「輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している」と据え置き。	19日	地元食材、東京都内でPR 地域の食材を売り込む地方銀行フードセレクションが東京都で開催され、宮崎銀行の取引先30社が出展し、販路開拓へ商品をアピール。
26日	18年度医療費、過去最多を更新 厚生労働省は、2018年度に全国の医療機関に支払われた医療費(概算)が、前年度比0.8%増の42兆6千億円と発表。	24日	JA宮崎経済連と宮大、農業分野で共同研究 JA宮崎経済連は、宮崎大学と農業分野で共同研究を進めることなどを目的に、宮崎大産学・地域連携センターにオフィスを開所。
30日	19年産水稲、全国は「平年並み」 農林水産省は、2019年産のコメ(水稲)の全国の作況指数(9月15日時点)が、「平年並み」の101になる見通しと発表。	26日	公的病院の再編・統合促進、県内7病院が対象 厚生労働省は、公的病院の再編・統合促進に向け「診療実績が乏しい」と判断した病院が県内は4つの公立病院と3つの公的病院が対象と公表。